

みずほCustomer Desk Report 2016/12/02号(As of 2016/12/01)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	114.70	1.0589	121.44	1.0170	1.2515	0.7389
SYD-NY High	114.83	1.0669	121.80	1.0173	1.2696	0.7423
SYD-NY Low	113.83	1.0585	120.86	1.0100	1.2505	0.7369
NY 5:00 PM	114.10	1.0663	121.61	1.0107	1.2589	0.7416
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	12.98/13.48		Δ25RR	0.525	Yen Call Over	

	債券市場	日本2年債	日本10年債	米国2年債	米国5年債	米国10年債	独10年債	英10年債	豪10年債
NY DOW	19,191.93	68.35	-0.1700	0.0310	1.1470	1.8982	2.4481	1.4970	2.7830
NASDAQ	5,251.11	▲72.57	▲1.3bp	0.6bp	3.4bp	5.6bp	6.7bp	7.9bp	6.0bp
S&P	2,191.08	▲7.73							
日経平均	18,513.12	204.64							
TOPIX	1,483.27	13.84							
シカゴ日経先物	18,450	▲170.00							
ロンドンFT	6,752.93	▲30.86							
DAX	10,534.05	▲106.25							
ハンセン指数	22,878.23	88.46							
上海総合	3,273.31	23.27							
USDJPY 3M Vol	12.76	0.16%							
USDJPY 6M Vol	12.71	0.06%							
EURJPY 3M Vol	12.09	0.15%							
EURJPY 6M Vol	13.37	0.12%							

	為替市況	USD/CNH	ドルインデックス	商品市況	CRB指数	NY金	WTI	Dubai Spot
USDJPY 3M Vol	12.76	0.16%	6.8805	191.406	1,169.40	51.060	48.82	3.15
USDJPY 6M Vol	12.71	0.06%	▲0.0357	1.1,69.40	▲4.50			
EURJPY 3M Vol	12.09	0.15%	▲0.0357					
EURJPY 6M Vol	13.37	0.12%	▲0.54					

東京	前日海外時間の流れを引き継ぎ、東京時間オープン前にドル円は114.83まで上昇。かかる中、東京時間のドル円は114.70レベルでオープン。心理的節目である115円手前まで上昇したことで、ひとまず一服感が広がり、利益確定の売りに押される形で114.40近辺まで反落。その後、中国から11月製造業/非製造業PMIが発表され、ともに前回値を上回る数字となったものの、マーケットの反応は限定的であった。午後に入り、日経平均株価が上げ幅を縮小する値動きとなったことを背景にドル円相場も一段と調整の流れが進み、114円を割り込んで一時113.83まで下落。113.89レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、113.89レベルでオープン。翌日の米11月雇用統計を控え様子見ムードの中、米金利が上昇したことからドル円も小幅に上昇し、114.44レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.2539レベルでオープン。英11月製造業PMIが53.4と予想(54.4)を下回ったことや、米銀がテリハティブデスクをフランクフルトに移転することを検討しているとの報道等から、英株が売られ、ポンド売りが優勢となり1.2508まで下落。しかし、強硬派で知られるデービス英EU離脱相が議会証言で、単一市場を維持するためにEUに予算提出してもよいと態度を軟化させると、ハード・ブレクジット懸念がやわらぎ、1.2663まで急伸。1.2643レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0627レベルでオープン。前日OPEC後の原油高を受け、ECBも注目する長期のインフレ期待(5年先スタート5年物ブレイクイーブン・フォワード・レート)が1月以来の高水準で推移する中、独30年債利回りが1%を上回る等、欧州金利が上昇。ECB追加緩和観測が遠のいたことで、ユーロドルも1.0640まで買われる展開となった。その後は、材料難から小動きの値動きとなり、1.0615レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	NY時間のドル円は114.44レベルでオープン。朝方は米長期金利の上昇を受けて114.73まで上昇。発表された米11月ISM製造業景況指数は予想を上回ったものの、市場の反応は限定的。その後は翌日に米11月雇用統計を控えていることから利益確定売りや、米長期金利の低下を受けてドル円は反落。また、ECBが「いずれ来る資産買い入れの終了の合図を検討」との報道もあり、対ユーロドルが売られる展開にドル円は113.92まで下落。その後は114円台へ値を戻すものの、上値の重い推移となり、114.10レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.0615レベルでNYオープン。朝方は米長期金利の上昇を受けてドル買いが強まると1.0585まで下落。しかし上記ECBの報道等を受けてユーロドルは反発し、高値1.0669を付けて1.0663レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:末木・西谷

【昨日の指標等】

Time	Event	結果	予想
12月1日 8:50	日 対外・対内証券投資	-	-
10:00	中 製造業/非製造業PMI	11月 51.7/54.7	51.0/-
10:45	中 China製造業PMI	11月 50.9	51.0
17:55	独 マークイット製造業PMI・確報値	11月 54.3	54.4
18:00	欧 マークイット製造業PMI・確報値	11月 53.7	53.7
18:30	英 マークイット製造業PMI	11月 53.4	54.4
22:30	米 マスター・クリフランド連銀総裁講演	11月	-
22:30	米 新規失業保険申請件数	268K	253K
23:10	米 カプラン・ダラス連銀総裁講演	9月	-
23:45	米 マークイット製造業PMI	-	54.1
12月2日 0:00	米 ISM製造業景況指数	11月 53.2	52.5
0:00	米 建設支出(前月比)	10月 0.5%	0.6%

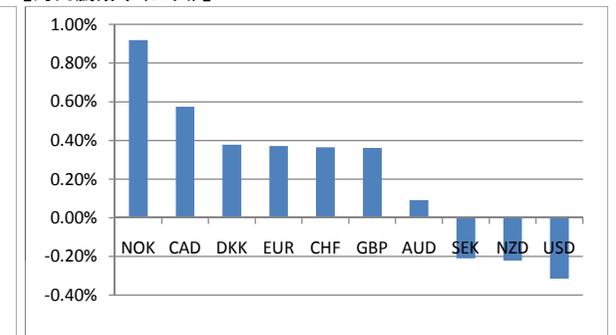
【本日の予定】

Time	Event	予想	前回
12月2日 18:30	英 建設業PMI	11月 52.2	52.6
19:00	欧 PPI(前月比/前年比)	11月 0.4%/-1.0%	0.1%/-1.5%
22:30	米 非農業部門雇用者数変化	11月 180K	161K
22:30	米 失業率	11月 4.9%	4.9%
22:30	米 平均時給(前月比/前年比)	11月 0.2%/2.8%	0.4%/2.8%
22:30	米 雇用ネット変化/失業率	11月 -15.0K/7.0%	43.9K/7.0%
22:45	米 プレイナードFRB理事講演	11月	-
12月3日 3:00	米 タル・ローFRB理事講演	-	-
12月4日 -	米 憲法改正の是非を問う国民投票	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.80-115.30	1.0580-1.0730	120.80-122.80

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場でのドル円は行って来いの展開。欧州時間にかけて114円台前半で推移していたドル円は、米長期金利の上昇を背景にじり高となり114円台半ばまで上昇。注目の米11月ISM製造業景況指数は市場予想を上回る良好な結果となり、米長期金利が一段高となり2.4%台後半まで急騰するも、ドル円の反応は限定的。米11月雇用統計や週末に控えるイタリア国民投票の前に利益確定の売りなどの動きも相俟って結局114円台前半で本日を迎えた。本日のドル円は底堅い展開を予想。本日は米11月雇用統計の発表を予定しており、良好な結果となればドル買いが進むだろう。また、北海 Brent 価格が年初来高値を更新している他、米10年債利回りも昨年夏以来の高水準にあり、ドル円を下支えしそうだ。但し、週末に控えるイタリア国民投票を警戒した利益確定のドル売りには注意したい。